OMRON

交換用バッテリパックBP50LT2取扱説明書

本製品は、無停電電源装置 BZ シリーズ（※ 1）専用の交換用バッテリパック（以降バッテリ呼ぶ）です。

安全に使用していただくために重要なことがらが書かれています。
設置やご使用開始の前に必ずお読みください

安全上のご注意

この取扱説明書の安全についての記号と意味は以下の通りです。

⚠警 告	正しい取り扱いをしなければ、 軽傷・中程度の傷害を負ったり、 万が一の場合は重傷や死亡に至る恐れがあります。 また、 同様に重大な物的損害を受ける恐れがあります。
⚠注 意	正しい取り扱いをしなければ、 軽傷・中程度の傷害を負ったり、 あるいは物的損害を受ける恐れがあります。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜、ペットにかかわる拡大損害を示します。

:禁止（してはいけないこと）を示します。例えば は分解禁止を意味しています。

:強制（必ずしなければならないこと）を示します。

なお、注意に記載した事項でも状況によっては重大な結果に結びつく可能性もあります。
いずれも重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

（*1）最新の対応機種は当社ホームページを参照してください。
https://socialsolution.omron.com/jp/ja/products_service/ups/

⚠ 警 告

梱包のポリ袋やフィルム類は、 幼児の手の届かない場所に保管する。
● 小さいお子様がかぶったりのみ込んだりすると、 呼吸を妨げる危険性があります。

バッテリの分解、 改造をしない。
● 液体（電解液）が漏れ、 触れると失明、 やけどなどの恐れがあります。

バッテリを落下させたり、 強い衝撃をあたえたりしない。
● バッテリが発熱、 発煙、 破裂、 発火する恐れがあります。
● 液体（電解液）が漏れ、 触れると失明、 やけどなどの恐れがあります。
● 落下に巻き込まれるとけがをする恐れがあります。

バッテリを火の中に投棄したり、 破壊したりしない。
● バッテリが破裂、 爆発したり、 液体（電解液）が漏れたりすることがあります。 また、 火災の恐れがあります。

交換作業は安定した平らな場所で行う。
● バッテリは落下しないよう、 両手でしっかりと保持してください。 落下によるけが、 バッテリからの液漏れによる失明や、 やけどなどの恐れがあります。
● バッテリコネクタを差し込んだときに、「バチッ」と音が聞こえることがありますが、問題ありません。

バッテリは必ず指定品を使用する。
● 指定以外のバッテリを使用した場合、 本機の故障、 発煙、 発火、 火災の恐れがあります。 不適切な種類のバッテリに交換した場合は、 爆発の恐れがあります。
● 同じ種類、 同じ数のバッテリに交換してください。 バッテリについては、 UPS 本体の取扱説明書を参照してください。

可燃性ガスがある場所でバッテリを交換しない。
● バッテリを接続する際、 火花が飛び、 爆発、 火災の恐れがあります。

⚠ 警 告

バッテリから液漏れがあるときは液体（電解液）に触れない。またバッテリを逆さまにしない。
- 失明や、やけどをする恐れがあります。
- 液体（電解液）が、目や皮膚に付着したときは、すぐに大量のきれいな水で洗い流し、医師の診断（診療）を受けてください。
- 交換用バッテリパックを包装してあるビニール袋にそのまま入れ、テープで封止してください。

バッテリ接続コネクタやバッテリ収納部に金属物を挿入しない。バッテリやコネクタの端子間をショートさせない。
- 感電や発煙、発火、やけどの恐れがあります。
- 使用済みのバッテリでも、内部に電気エネルギーが残っています。

バッテリを取り外すときに、ケーブルやコネクタを持って引っ張らない。
- ケーブルの損傷により、感電や発煙、発火の恐れがあります。

⚠ 注 意

運転（電源出力中）状態でのバッテリ交換は行わない。
交換作業は、接続機器のプラグを抜いた状態で本機の電源を切り、商用電源の供給を止めてから行う。
- 商用電源の供給停止については UPS 本体の取扱説明書を参照してください。

お願い

購入後は早めに充電してください。
ご購入後長期間充電しないと、バッテリが劣化し、使用できなくなることがあります。
- 充電時間については、UPS 本体の取扱説明書を参照してください。

頻繁にバックアップ動作をする用途に使用しないでください。
- バッテリの劣化が早まり、寿命が著しく短くなる場合があります。

この製品には、鉛バッテリ（鉛蓄電池）を使用しています。
- 鉛バッテリはリサイクル可能な貴重な資源です。鉛バッテリの交換および使用済み製品の廃棄に際しては、リサイクルへご協力ください。
  リサイクルについては、UPS 本体の取扱説明書（最終ページ）の「お問い合わせ窓口」までご連絡いただくか、当社ホームページより、リプレイスサービス引取申込書をダウンロードして、必要事項をご記入のうえ、当社までご送付ください。
  その際に、ショートの危険がありますので、端子部をテープ等で絶縁してください。

バッテリを UPS 本体に入れて保管される場合はバッテリを完全に充電し、電源を切ってください。また、以下の通り定期的に再充電してください。
バッテリは使用しない場合でも自己放電し、長期間放置すると過放電状態となります。バックアップ時間が短くなったり、使用できなくなることがあります。
- 充電時間については UPS 本体の取扱説明書を参照してください。
- 再充電の目安
  - 保管温度 25℃以下：6 か月以内
  - 保管温度 40℃以下：2 か月以内
- 長期間保管される場合は 25℃以下の環境を推奨します。
- 保管中は UPS 本体の「電源」スイッチを切ってください。

付属品を確認する

付属品がすべて揃っているか確認してください。
万一、不良品その他お気づきの点がございましたら 、すぐにオムロン電子機器カスタマサポートセンタへご連絡ください。

・取扱説明書（本書）.....1

・バッテリ交換カバー固定ねじ（予備ねじ） 1

・リプレイスサービス引取申込書.....1

バッテリ交換

● 準備

(1) バッテリを用意してください。
バッテリはテープおよびフィルムにより固定されているため剥がさないでください。

(2) 接続機器を停止し、接続機器のプラグを抜いてください。
再接続の時に「停電時バックアップする」コンセントと「停電時バックアップしない」コンセントとを間違えないように確認しておいてください。

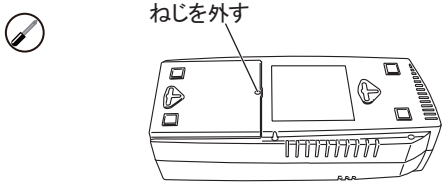
(3) UPS本体の電源スイッチを切ります。

(4) 「AC入力」プラグを電源コンセントから抜きます。

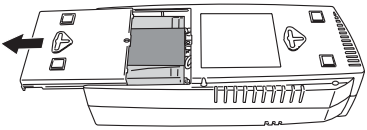
ねじを回すためにドライバが必要であることを示します。
ねじの形状に合ったドライバをご用意ください。

●バッテリ交換

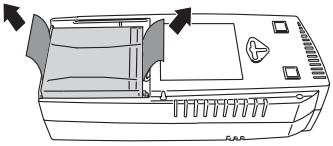
(5) UPS 本体底面のバッテリ交換カバーの固定ねじ（1 個）を外します。



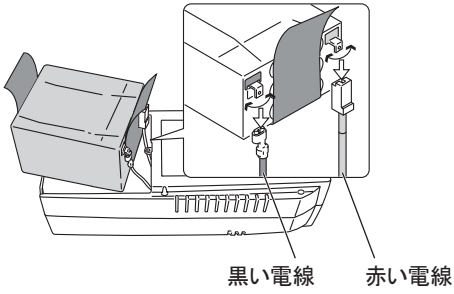
(6) バッテリ交換カバーを横にスライドさせて取り外します。



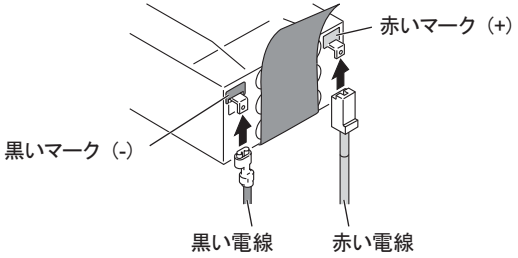
(7) ラベルを持ち、 バッテリを取り出します。



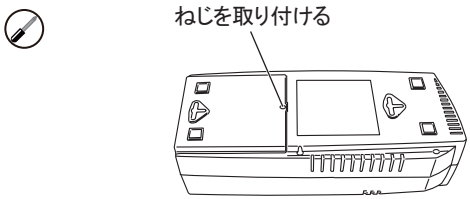
(8) バッテリを完全に取り出した状態で、 電源コネクタを引き抜きます。
まず、 赤色の電線（+ 側）のコネクタを抜き、 次に黒色の電線（− 側）のコネクタを抜きます。
固くて抜けにくい場合は、 コネクタの根元を持って左右に強く揺らしながら引き抜いてください。



(9) 新しいバッテリを接続し、 元の方向でケースに入れます。
まず、黒色の電線(−側)のコネクタを差し込み、次に赤色の電線(+側)のコネクタを差し込みます。



(10) バッテリ交換カバーを取り付け、 手順 1 で外したねじ (1 個) で固定します。



(11) 交換作業が終わったら、 自己診断テストを実施します。
機器を接続し、UPS 本体の AC 入力プラグを電源コンセント(商用電源)に差し込みます。「電源」スイッチを押して UPS 本体の電源を入れると、 自動で自己診断テストが実施されます。
テストが終了すると、 自動的に運転状態に戻ります。
本機の動作や状態表示などについて、 下記 「接続と動作確認」 の手順で商用運転が正常に開始されるか確認してください。

●接続と動作確認

(12) 接続機器のプラグを電源出力コンセントの元の位置に差し込んでください。
(13) UPS本体の「AC入力」プラグを電源コンセントに接続します。
(14) UPS本体の電源スイッチを入れます。
(15) 正常に起動し、約 15 秒後、ランプ・ブザーが下記の通りになることを確認してください。

表示ランプの状態			ブザー
⚠ ■	🔋 ■	出力 □	OFF

■ 点灯
□ 消灯

(16) バッテリ交換日を記録します。
※ 自動シャットダウンソフトでバッテリ使用開始時期の管理が行えます。 詳しくは自動シャットダウンソフトの取扱説明書をご確認ください。

本取扱説明書に記載されている各会社名、 各社製品名は各社の商標または登録商標です。
本取扱説明書の内容の一部または全部を無断で複製、 転載することは禁止されております。
本取扱説明書の内容については、 将来予告なしに変更することがあります。
© OMRON SOCIAL SOLUTIONS CO.,LTD. 2009

オムロン ソーシアルソリューションズ株式会社

K1L-D-09031F